

社会資本総合整備計画 事後評価

令和7年3月
愛知県岡崎市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和 年 月 日

計画の名称	公共施設の整備による良好な住環境の向上														
計画の期間	令和3年度～令和6年度（4年間）				交付対象	岡崎市									
計画の目標	<p>都市計画マスタープラン2010において、「便利で快適な住環境づくり」「市民の暮らしを守る生活環境づくり」「主体性・創意工夫を活かした市民協働の促進」等が都市づくりの主要課題として整理されている。本計画は、基盤整備が遅れている地区及び低未利用地については、土地区画整理事業により都市基盤の整備を進め、都市の防災機能の向上や公園、生活道路といった十分なオープンスペースの確保を図るとともに、利便性の高い駅周辺部常住人口を確保すると同時に、地域に不足している高度な救急医療病院や大規模な商業施設を配置し、それら施設と既存住宅地を結ぶ道路ネットワークを構築することによりコンパクトなまちづくりを推進し、良好な住環境を向上させることを目標とする。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	<p>1）施行区域内の幅員4m以上の道路に接していない消防活動困難区域の解消率を79%から100%に増加 2）施行区域内の鉄道周辺部の新規住宅等の着工件数を51戸から88戸に増加</p>														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考				
									当初現況値	最終目標値					
									(R3当初)	(R6末)					
1）施行区域内の消防活動困難区域改良率 (施行区域内の消防活動困難区域解消率) = Σ (施行区域内の消防活動困難区域解消の面積) / Σ (施行区域内の消防活動困難区域の全面積) (%)									79%	100%					
2）施行区域内の鉄道駅周辺部の新規住宅等の着工件数 施行区域内において、鉄道駅から概ね1,000m圏内の新規住宅等の着工件数を計測する。									51戸	88戸					
全体事業費	合計 (A+B+C)	219 百万円	A	211 百万円	B	0 百万円	C	8 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.65%					
事後評価															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期									
整備計画策定主体である岡崎市都市整備部市街地整備課において評価を実施し、岡崎市社会資本総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行った。						交付期間終了時点（令和7年3月）									
						公表の方法									
						岡崎市ホームページ上にて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									R3	R4	R5	R6	R7		
1-A-1	市街地	一般	岡崎市	間接	岡崎駅南土地区画整理組合	岡崎駅南土地区画整理事業	都市再生区画整理 41.2ha	岡崎市						211	
合計												211			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									R3	R4	R5	R6	R7		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									R3	R4	R5	R6	R7			
1-C-1	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	防犯灯整備事業	環境配慮型(LED)防犯灯 74基	岡崎市							3	
1-C-2	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市公園整備事業(岡崎駅南地区)	街区公園 1箇所 ΣA=0.5ha	岡崎市							5	
合計													8			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	土地区画整理事業(1-A-1)の整備にあわせて、防犯灯の整備を進めることにより、住環境の向上が図られ、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。															
1-C-2	土地区画整理事業にあわせて、都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 岡崎駅南地区では、低未利用地の計画的な基盤整備の効果により、新規住宅の着工件数が着実に増加し、良好な居住環境を備えた宅地の供給が進んでいる 岡崎駅南地区については、役員会等において整備の状況を検討し、事業の進捗を図っている。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(施行区域内の消防活動困難区域解消率)	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	岡崎駅南地区の事業の進捗により、生活道路等の整備が完了したため、目標値を達成した。	
		最終実績値	100 %			
	指標②(施行区域内の鉄道駅周辺部の新規住宅等の着工件数)	最終目標値	88 戸	目標値と実績値に差が出た要因		岡崎駅南地区において、当初予定を上回る新規住宅の建設が進んだため、目標値を上回る実績値となった。
		最終実績値	121 戸			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項(今後の方針等)						
<ul style="list-style-type: none"> 本事業期間では、道路、供給処理施設、宅地等の公共施設の整備により、良好な住環境の向上を図ってきたが、今後も住民意向を反映させながらまちづくりを進めることが必要である 						

(参考図面) 市街地整備 事後評価

計画の名称	公共施設の整備による良好な住環境の向上	交付対象	岡崎市
計画の期間	令和3年度 ～ 令和6年度 (4年間)		

